

2026年1～3月期の景況調査結果

質問1 今期(1～3月)と前年同期の経営上の比較、および来期(4～6月)の見通しについて

売上高DIは業種総合で見ると、前回の5.3より6.7ポイント改善の12.0となった。また、収益状況DIは、総合と3つの大分類全てで0となっており、前回(△24.0)と比較して大幅な改善となっている。

DI値	イ. 売上高		ロ. 売上単価		ハ. 資金繰り		ニ. 借入難度 (手形割引含む)		ホ. 収益状況		ヘ. 雇用人員 (人手)		ト. 自社の業況判断	
	今回調査	来期見通し	今回調査	来期見通し	今回調査	来期見通し	今回調査	来期見通し	今回調査	来期見通し	今回調査	来期見通し	今回調査	来期見通し
総合	12.0	△ 6.7	25.3	6.7	△ 12.0	△ 16.0	△ 8.0	△ 12.0	0.0	△ 13.3	△ 28.0	△ 29.3	0.0	△ 17.3
もの造り	22.7	4.5	31.8	36.4	△ 9.1	△ 22.7	△ 4.5	△ 9.1	0.0	△ 18.2	△ 31.8	△ 36.4	0.0	△ 27.3
卸・小売関連	30.0	△ 5.0	35.0	△ 5.0	△ 15.0	△ 10.0	△ 5.0	△ 10.0	0.0	△ 25.0	△ 50.0	△ 45.0	0.0	△ 25.0
サービス業関連	△ 6.1	△ 15.2	15.2	△ 6.1	△ 12.1	△ 15.2	△ 12.1	△ 15.2	0.0	△ 3.0	△ 12.1	△ 15.2	0.0	△ 6.1

※DI値＝(増加・好転などの回答割合)－(減少・悪化などの回答割合)

質問2 今期直面している経営上の問題点

前回と同様、総合1位は「仕入価格の上昇」で、前回より12%高い回答率となった。また、総合2位の「従業員の不足・確保難」は前回から8%高い回答率で5位から順位が上がっており、業種別では特に飲食業と建設業が高い回答率となっている。

総合	1位	2位	3位
今回調査	仕入価格の上昇 (64%)	従業員の不足・確保難 (23%)	人件費等の経費の増加 (21%)
前回調査	仕入価格の上昇 (52%)	人件費等の経費の増加 (25%)	売上が増えない (23%)

質問3 現在(今後)進めている(いく)経営改善対策

総合1位は「経費削減策」で前回調査4位から順位が上がっており、業種別では飲食業と宿泊・サービス業で1位となっている。

総合	1位	2位	3位
今回調査	経費削減策 (29%)	販売単価上昇策 (27%)	売上増加策 (24%)
前回調査	売上増加策 (35%)	販売単価上昇策 (29%)	利益率向上策 (25%)

質問4 ガソリン・原油価格高騰による影響

75者による全回答の中で最も多かったのは「原材料・仕入価格の上昇」で43者、回答総数に対する割合は57%で、特に卸小売業では80%と高い割合を示した。次に多いのは「燃料費の増加」で36者(48%)で、建設業が73%と高い割合を示した。

1. 燃料費の増加
2. 物流・配送コストの増加
3. 原材料・仕入価格の上昇
4. 電気・ガスなど光熱費の増加
5. 来客数・受注の減少
6. 客単価の低下(節約志向)
7. 業務効率の低下
8. 利益率の低下
9. 特に影響はない
10. その他

